

## 令和3年度指定管理者評価シート

### 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	老人憩いの家(8施設)
(2)施設概要	<p>施設の設置目的          地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p>
	<p>①三橋老人憩いの家          所在地      さいたま市大宮区三橋2-59          開設年月    昭和56年4月          構      造   スレート造 2階建(三橋児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>
	<p>②三橋老人憩いの家分館分館          所在地      さいたま市大宮区三橋2-259-1          開設年月    平成14年12月          構      造   鉄筋コンクリート造 2階建          主な施設    和室、小会議室、大会議室兼レクリエーション室、ギャラリー</p>
	<p>③天沼老人憩いの家          所在地      さいたま市大宮区天沼町1-194          開設年月    昭和59年4月          構      造   スレート造 2階建(天沼児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>
	<p>④宮原老人憩いの家          所在地      さいたま市北区宮原町4-66-13          開設年月    昭和60年4月          構      造   スレート造 2階建(宮原児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>
	<p>⑤植水老人憩いの家          所在地      さいたま市西区中野林174-1          開設年月    平成2年4月          構      造   スレート造 2階建(植水児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>
	<p>⑥本郷老人憩いの家          所在地      さいたま市北区本郷町1065-3          開設年月    平成3年4月          構      造   スレート造 2階建(本郷児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>
	<p>⑦片柳老人憩いの家          所在地      さいたま市見沼区東新井710-78          開設年月    平成4年7月          構      造   鉄筋コンクリート造 2階建(片柳児童センター)の一部          主な施設    ふれあいの間</p>

	<p>⑧春野老人憩いの家</p> <p>所在地      さいたま市見沼区春野1-7-1</p> <p>設置年月    平成6年7月</p> <p>構      造    鉄筋コンクリート造 2階建(春野保育園)の一部</p> <p>主な施設    ふれあいの間</p>
(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料</p> <p>令和元年度    7,747千円</p> <p>令和2年度    7,809千円</p> <p>令和3年度    7,855千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>・利用者数12,253人(前年度6,096人)</p> <p>◇業務実施状況</p> <p>・基本理念である「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔でつながる老人憩いの家」を目指すことと、介護予防と健康づくりの促進、生きがいづくり支援、支え合う活力あるまちづくりの推進、児童との触れ合いの場、高齢者が活躍できる場の提供をするという4つの目標のもと運営を行った。</p> <p>・昨年度に引き続きコロナ禍で、利用制限中ではあったが、withコロナ新しい生活様式下でできる新たな事業スタイルの構築や、安心・安全な居場所づくりとして環境整備をしサービスの向上に努めた。また、職員の資質の向上に努めるとともにホームページの活用や、パンフレットのリニューアルも積極的に行った。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>・コロナ禍で安心・安全に利用していただくために衛生管理、感染症対策を徹底した。</p> <p>・高齢者におこりうる事故の防止対策、安全管理の体制づくりを行い、状況に応じたリスク管理に努めた。(施設設備・備品の日常点検等)</p> <p>・災害時に役立つ備品の整備、飲料水、非常食の備蓄を行った。</p> <p>・消防法規定に基づく法定点検を実施し、安全確保に努めた。</p> <p>③その他の業務</p> <p>利用者懇談会、避難訓練、世代間交流行事(ガーデニング、まつり)、囲碁/将棋、ラジオ体操、介護予防講話、健康体操、運動支援員による運動教室、集いの場の提供、地域包括支援センターによる講話、環境ボランティア。</p>
(6) 収支状況	<p>①収入</p> <p>・指定管理料収入      7,855千円    (前年度 7,809千円)</p> <p>・その他                      3千円    (前年度 2千円)</p> <p>②支出</p> <p>・事業費                      490千円    (前年度 505千円)</p> <p>・事務費                      1,149千円    (前年度 1,085千円)</p> <p>・施設管理費              4,160千円    (前年度 3,664千円)</p> <p>・繰入金                      1,440千円    (前年度 1,204千円)</p>
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	<p>・日常的に施設に対する意見や要望を伝えられる仕組みとして、利用者が使いやすい場所に「みなさまの声」ボックス(意見箱)を設置して利用者の意見を伺うとともに、寄せられた意見への回答を書面をもって公表し、サービスの向上に努めた。</p> <p>・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、所管課の指示による制限を設けた運営内でのアンケート実施となった。昨年度に比べて感染状況が比較的落ち着き、定期的な個人や、団体の利用が増加し、利用者の貴重な意見を把握することができ、withコロナの施設運営における満足度の向上に生かした。</p>
(8) その他	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	・介護予防の視点による「健康体操」等の運動指導やレクリエーションを実施した。 ・健康相談、栄養相談、歯科衛生相談、介護相談等、高齢者や家族が抱える「悩み」や「困りごと」に対する各種相談事業の広報活動を行った。
生きがいづくりの支援	・高齢者が趣味を深められるよう、手芸・工作教室、囲碁・将棋教室などの教養講座を開催した。 ・高齢者が諸活動への参加を通して円滑に仲間づくりができるよう、場の設定及び活動の支援を行った。
支え合う活力あるまちづくりの推進	・地域のシニアクラブ等との連携のもと、各種共催事業を開催するとともに活動の場を設定し、高齢者の地域での支え合いのシステムを支援した。 ・さいたま市担当課、警察署、消防署、地域包括支援センター等の地域の関係機関との連携、共催により、高齢者が安全・安心な生活ができるよう、暮らしに関する各種講話、防災講話等を開催した。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	・児童センター併設という特性を生かし、児童、保護者等世代を超えた交流の場を設定し、相互理解を深めていけるよう支援した。 ・児童センター、憩いの家共催事業等、様々な活動や日常の関わりやふれあいを通して、高齢者が活躍できる場の設定及び活動の支援を行った。

## 3. 評価

### (1) 指定管理者による評価

・昨年度に引き続きコロナ禍で、児童センター、児童クラブとの併設館ということもあり、感染リスクを軽減するために、利用の場の住み分けに努めるなど、安心して安全に利用していただけるように感染拡大防止対策を徹底し、環境整備し、居場所の提供を行った。 ・所管課からの「高齢福祉課所管市民利用施設に係る利用再開ガイドライン」に基づいた運営であり、利用制限中ではあったが、withコロナ禍でできる新たな事業スタイルの構築をしながら、健康増進活動や、生きがいづくり支援、不安解消や人と人とのつながりが希薄にならないような事業を多角的に行った。 ・その他、外部研修への参加や施設内研修を積極的に実施し、よりよいサービス提供に必要なスキルの習得に努めた結果、質の高いサービスの提供につながり、満足度を上げることができた。また、ホームページの活用や、パンフレットのリニューアルも手掛け、広報活動に力を入れた。 ・利用者アンケートでは、「職員の言葉遣いや接し方について」は91.1%の割合で親切、丁寧であるとの高い評価をいただいた。また、「施設は、清潔で居心地がよく、くつろげる場になっているか」についても91.9%の方から「はい」と回答を得た。感染対策に伴い、部屋の整理整頓や、消毒・換気等が行き届いた環境設定を行ったことで、利用者が安心感を得てくださったことがうかがえた。個別の意見・要望として、コロナ禍での利用者受け入れを再開したことへの謝意が多く、「健康で明るくなれる」「もっと長い時間利用したい」などの声もあったことから、ニーズを受け止め、今後もより添った支援に努めていきたい。
---

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D  (1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価 ・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しつつ、その中でできる新たな事業スタイルの構築や、健康増進活動、生きがいづくり支援、不安解消のための事業等を多角的に実施し、市民サービスの向上に努めた点を評価した。 (2)「経費の削減」に対する評価 ・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。 (3)「適正な管理運営の確保」に対する評価 ・児童センターや児童クラブと併設しているという条件の中で、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者の環境整備や居場所の提供を行ったことを評価した。  2 総合評価 事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。
---

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。